議事

資料⑥

本町の経済発展に向けた今後の取組・中小企業振興施策について

令和6年度大津町中小企業・小規模企業活性化会議資料

令和6年(2024)年7月11日

《最初に》委員の皆様へ

【論点】

大津町の中小企業等の振興に向けて、下記のとおり意見を伺いたく存じます。

１）本町の取組等に対する評価や様々な意見をご教示ください。

２）その他（中長期的な目線での課題・取組事項等）

各委員が把握している現状、有効と考える取組等をご教示ください。

目次

《経済発展に関する》本町の取組　…P4

１　本町の主な取組について

本町の方向性　…P5

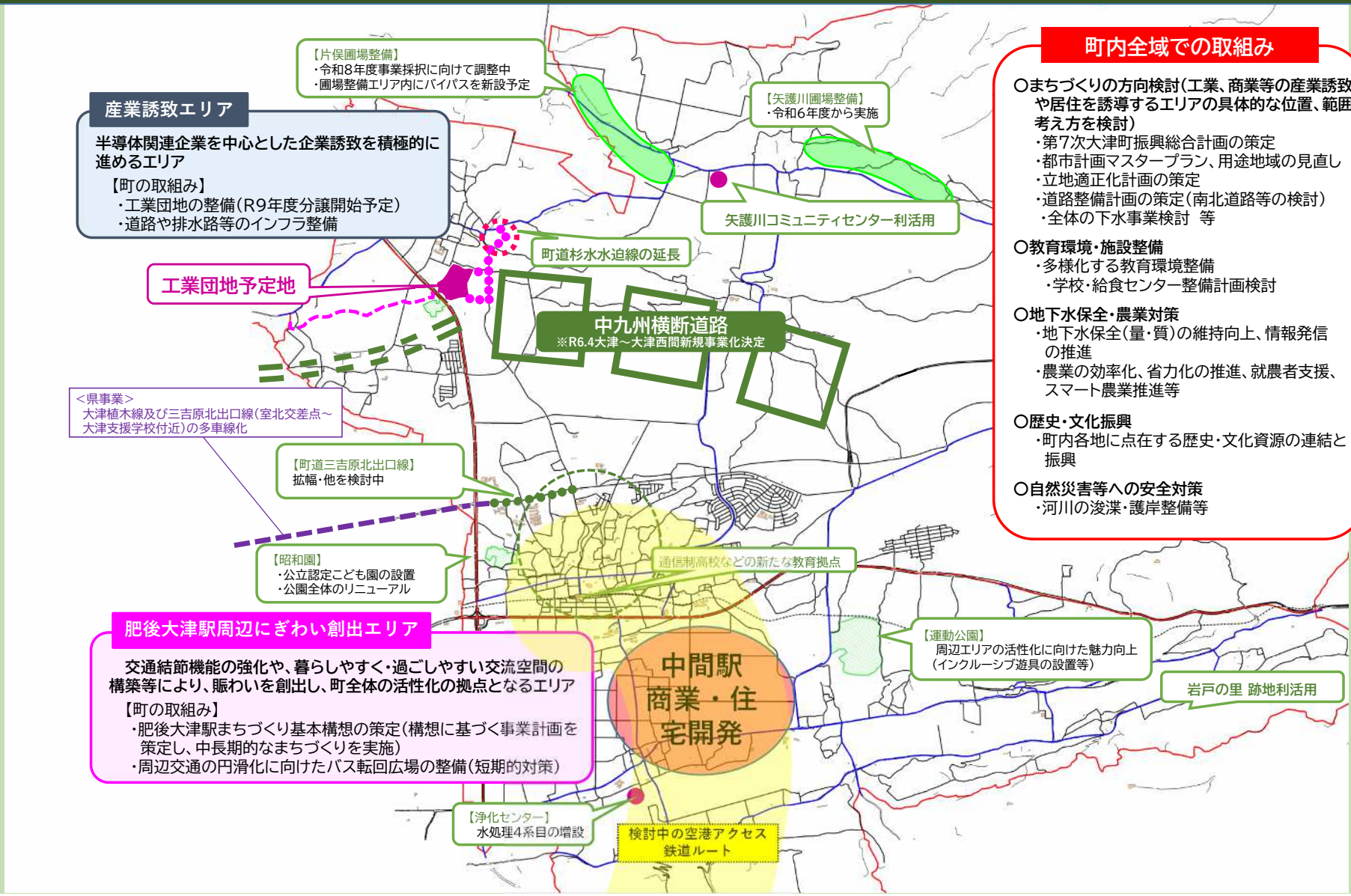
方向性ごとの主な取組　…P6～P15

２　本町の工事・役務・物件契約における町内事業者の受注状況

本町の工事・役務・物件契約における町内事業者の受注状況　…P16

中小企業者の受注機会の確保のための本町の取組　…P17

《経済発展に関する》本町の状況



町内全域での取組み

○まちづくりの方向検討（工業、商業等の産業誘致や居住を誘導するエリアの具体的な位置、範囲、考え方を検討）
- ・第7次大津町振興総合計画の策定
- ・都市計画マスタープラン、用途地域の見直し
- ・立地適正化計画の策定
- ・道路整備計画の策定（南北道路等の検討）
- ・全体の下水事業検討　等

○教育環境・施設整備
- ・多様化する教育環境整備
- ・学校・給食センター整備計画検討

○地下水保全・農業対策
- ・地下水保全（量・質）の維持向上、情報発信の推進
- ・農業の効率化、省力化の推進、就農者支援、スマート農業推進等

○歴史・文化振興
- ・町内各地に点在する歴史・文化資源の連結と振興

○自然災害等への安全対策
- ・河川の浚渫・護岸整備等

1　本町の主な取組について　～方向性ごとの主な取組～

方向性1 経営基盤の安定・強化	取組①　経営向上・安定のための支援 取組②　商店街等の振興
方向性2 創業・新分野進出支援の促進	取組③　創業・新分野進出支援 取組④　新たな事業活動の促進
方向性3 人材育成・確保	取組⑤　人材の育成・確保

1　《方向性１》　経営基盤の安定・強化

取組①　経営向上・安定のための支援

【令和５年度の主な取組】

①中小企業店舗新築、改装、工場機械及び駐車場設備融資金利子補給事業
　中小企業者が店舗等の整備に必要な融資金の借入に対し利子補給（３年間）を実施した。（新規２件、継続１件）

②商工会助成事業
　中小企業者・小規模事業者のため、経営指導や講習会など様々な事業者支援や、地域発展・活性化のための事業を実施している商工会に助成を実施した。

③小口資金融資事業
　中小零細企業者に対し、小口資金融資を行うことにより、経営の安定化を図るもの。

④新型コロナウイルス感染症対策融資金利子補給《臨時》
　熊本県中小企業融資制度の新型コロナウイルス感染症対応資金の融資を受けたものに対し、予算の範囲内で利子補給を行った。

⑤燃料価格高騰対策運送事業者支援事業補助《臨時》
　急激な燃料価格高騰の影響を受けている運送事業者に対し、補助を行った。

【取組の成果】

・利子補給事業者数：　3件
・利子補給額：　125,898円

・助成額：　10,000,000円

・利用実績　1件
（現在代位弁済返金中）

・利子補給事業者数：　64件
・利子補給額：1,787,955円

・補助事業者数：　33件
・補助額：　20,340,000円

1　《方向性１》　経営基盤の安定・強化

取組①　経営向上・安定のための支援

【令和６年度の主な取組】

①中小企業店舗新築、改装、工場機械及び駐車場設備融資金利子補給事業《継続》
　中小企業者が店舗等の整備に必要な融資金の借入に対し利子補給（３年間）を行う。

②商工会助成事業《拡充》
　中小企業者・小規模事業者のため、経営指導や講習会など様々な事業者支援や、地域発展・活性化のための事業を実施している商工会に助成を行う。
　あわせて本年度は、台湾への視察研修の助成を行います。商業観光課からも職員２名をその研修に参加させ、商工会と町との連携強化とともに認識の共通化を図り、課題解決への取り組みに繋げます。

③小口資金融資事業《継続》
　中小零細企業者に対し、小口資金の融資を行うことにより、経営の安定化を図る。

2　《方向性１》　経営基盤の安定・強化

取組②　商店街等の振興

【令和５年度の主な取組】

【取組の成果】

①イベントの実施

つつじ祭り、地蔵祭など商店街等を中心とした祭りに助成を実施。

・地蔵祭補助金（商工会）
：　4,500,000円
・明日の観光大津を創る会
助成金：　9,000,000円

②イベントの支援

南阿蘇鉄道の肥後大津駅の乗入れに伴い７月に１回、クリスマスに併せ１２月に１回、駅周辺商店街と協力し「大津夜市」を開催しました。

・　7月15日（土）
・12月22日（金）

③飲食店メニュー多言語化事業

外国人来町者に対応するため、飲食店メニューの多言語化を支援しました。

・受付件数：11件

【現状・課題】
〇物価高騰等に加え、大津町では土地、人件費の価格も高騰しており、経営環境は依然として厳しい状況にある。事業者の資金繰りや業績改善への取り組みを引き続き支援する必要がある。

2　《方向性１》　経営基盤の安定・強化

取組②　商店街等の振興

←つつじ祭り
（令和5年4月23日）

夜市→
（令和5年7月15日）

←地蔵祭
（令和5年8月23,24日）

クリスマス夜市→
（令和5年12月22日）

２　《方向性１》　経営基盤の安定・強化

取組②　商店街等の振興

【令和６年度の主な取組】

①イベントの実施《拡充》
　つつじ祭り、地蔵祭など商店街等を中心とした祭りに助成を行う。祭りの復活に伴い、予算額を増額している。

②商店街補助金《新規》
　町内４か所の商店街に対し商工会を通じて活性化のための補助を行う。（４商店街×20万円）

③多言語化事業補助金《新規》
　日本語表記に不案内な外国人の受け入れがしやすうように、宿泊施設や商業施設などの事業者に対して、案内表示等の多言語化のための整備費用の１/２を補助する。

④中小企業人材育成事業補助《新規》
　中小企業大学校と共催し、商工会後援によりサテライト・ゼミを開催。受講料の１/２を補助する。

⑤イベントの支援《拡充》
　南阿蘇鉄道の肥後大津駅乗入を皮切りに開催した「大津夜市」を、本年度は後援事業として、４回開催する予定。

1　《方向性２》　創業・新分野進出支援の促進

取組③　創業・新分野進出支援
取組④　新たな事業活動の促進

【令和５年度の主な取組】	【取組の成果】
①創業支援補助金 町内で新たに創業する者や新分野に進出する者に対して、補助金を支出した。	・補助事業者数：10件 （創業7件、新分野3件） ・補助額：6,434,000円
②地域ＤＸ展示会 デジタル化の活用でサービスの効率化等につなげるため、中小企業等を対象としたＤＸ展示会を開催した。	・参加人数：106名
③台湾誘客セミナー 台湾の文化や訪日の目的・動向等を学び誘客につなげるためセミナーを開催した。	・申請時：78名 （会場46名、 オンライン32名）

【現状・課題】
〇令和4年度に引き続き、創業する事業者や、新分野へ進出する事業者ができた。今後も支援を継続するとともに、創業者等のその後の経営状況については、商工会と連携しながら留意を図る必要がある。

1　《方向性２》　創業・起業支援の促進

取組③　創業支援
取組④　新たな事業活動の促進

台湾誘客セミナー（令和5年8月28日）

地域DX展示会（令和5年11月24日）

1　《方向性２》　創業・新分野進出支援の促進

取組③　創業・新分野進出支援
取組④　新たな事業活動の促進

【令和６年度の主な取組】

①創業支援補助金《継続》
町内で新たに創業する者や新分野に進出する者に対して補助を行う。

②起業家育成セミナーの実施《新規》
起業、新分野に関連するセミナーを１回開催する。対象として中高生を想定。

③商業関連セミナーの実施《新規》
情報発信による誘客、リピーター増加など、収益増加やモチベーションアップに繋がるセミナーを２回開催予定。

1　《方向性３》　人材育成・確保

取組⑤　人材の育成・確保

【令和５年度の主な取組】	【取組の成果】
①大津町企業ガイダンス 　生徒等が就職先を考える際の情報不足を少しでも解消し、若者の地元企業への就職の促進や定着を図るため、翔陽高校で企業ガイダンスを開催しました。（町企業連絡協議会主催）	・参加町内企業：　20社 ・参加生徒数　：120名
②企業と学校との情報交換会 　学生の地元企業への就職に向けて企業側と学校側で就職に関する情報交換会を開催しました。（町企業連絡協議会主催）	・参加町内企業：　30社 ・参加県内高校：　18校
③工場等見学会 　地元企業の存在や魅力、地元就職のメリット等を伝えるため、翔陽高校の生徒を対象に町内企業の工場等の見学会を開催しました。（町企業連絡協議会主催）	・参加町内企業：　19社 ・参加生徒数　：123名
④町企業連会員向け研修会 　町内会員企業向けに人材確保・育成に力を入れ、各企業で取り組むべきことを学ぶため、　「人材確保について」をテーマに研修会を開催しました。（町企業連絡協議会主催）	・参加者：　72名
⑤ジョブカフェ菊池ブランチ　大津町相談会 　ジョブカフェ菊池による出張相談を実施することで、就職や離職に悩む方の相談に応じ、雇用の確保に努めました。（月１回）	（令和５年度） ・来所者　　：　18名 ・就職決定者：　4名

【現状・課題】
〇県内新規高校卒業予定者の約４割が県外での就職を希望している。
〇熊本管内の有効求人倍率は全国と比較しても高い状況にあり、深刻な人手不足が続いている状況。

1　《方向性３》　人材育成・確保

今年度の取組

取組⑤　人材の育成・確保　《継続》

①地元企業の情報（魅力）発信

　町企業連絡協議会と連携し、地元企業ガイダンスや高校等との情報交換会、工場見学会などを開催し、人材確保を行う。

②ジョブカフェ菊池ブランチ　大津町相談会

　ジョブカフェ菊池による出張相談を実施することで、就職や離職に悩む方の相談に応じ、雇用の確保に努める。（月１回）

《参考》

●補助団体による人材育成

　町商工会や町企業連絡協議会など、町の補助団体において、会員の人材育成のため各種研修が実施されている。

2　本町の工事・役務・物件契約における町内事業者の受注状況

令和5年度	契約件数（件）		契約金額（円）		町内事業者の割合（%）	
	契約件数	うち町内	契約金額	うち町内	件数	金額
工事	138	117	2,994,650,054	2,929,663,335	84.8	97.8
物品･役務	516	161	1,362,615,614	489,961,906	31.5	36.0
合計	654	278	4,357,265,668	3,419,625,241	42.5	78.4

令和4年度	契約件数（件）		契約金額（円）		町内事業者の割合（%）	
	契約件数	うち町内	契約金額	うち町内	件数	金額
工事	157	128	639,451,252	575,051,477	81.5	89.9
物品・役務	538	188	1,661,390,233	613,894,506	34.9	37.0
合計	695	316	2,300,841,485	1,188,945,983	45.5	51.7

〇令和5年度の契約金額の増加の要因は大津中の長寿命化工事（約17億円）と護川小屋根改修工事（2.1憶円）によるものである。
〇工事に関しては、町内事業者が一定数以上あるため、高い割合を確保できている。通信など一部業種については、町内で対応できる事業者が少ない状況である。
〇物品･役務に関しては、リース業や建設設計コンサル業など町内事業者がいない業種があり、割合は低くなる傾向。

２　本町の工事・役務・物件契約における町内事業者の受注状況

中小企業者の受注機会の確保のための本町の取組

①工事等の一般競争入札、指名競争入札において、町内事業者へ優先発注

②小規模工事や物品購入等の随意契約において町内事業者活用の庁内周知

ありがとうございました

2024.7.11
大津町　産業振興部　商業観光課